

■ 競技規則他

本大会は、(財)日本バドミントン協会発行の現行の競技規則並びに同大会運営規定に則り行う。

- ・ 21 点 2 ゲーム先取（デュースあり）
- ・ 各ゲーム 11 点および 1 ゲーム目の終了時に 1 分以内、ファイナルゲームの前に 2 分以内のインターバルを認める。

■ 審判に関して

- ・ 1 試合目の主審線審は連盟より指定する。コールに気を付けること。
- ・ 主審の立ち位置は本部席に対面する側（本部に背を向けない側）で行うこと。
- ・ 選手が揃ったら速やかに試合を始め、コートに選手が揃わない場合は本部席に速やかに報告すること。
- ・ コート内で問題があった時(怪我、病気等による中断)は手を上げて、本部役員を呼ぶこと。
- ・ スコアシートには審判名、試合開始、終了時刻、試合時間、シャトル数等必要事項を漏れなく記載する事（勝者サインは不要）。
- ・ 試合終了後、主審が本部席にスコアシートを提出すること。
- ・ 同じコートの次の試合、敗者は主審と線審（得点版）、勝者は線審。不足の場合は各チームで補うこと。
- ・ 主審(敗者)は次の試合のスコアシートを本部席に取りに来ること。

■ その他注意事項

- ・ 全試合 2 分間の練習時間を設けます。開会式前の練習はありません。
- ・ 男子ダブルス 1 部および男子ダブルス 3 部は総当たり戦で行う。
- ・ 男子ダブルス 2 部はグループリーグを行い各リーグ 1/2 位、3/4 位選手にてトーナメントを行う。3 位決定戦は行わない。
- ・ 女子ダブルスはグループリーグを行い全チームでトーナメントを行う。
- ・ 全種目 3 位決定戦は行わない。
- ・ 予選の勝ち上がり基準は①勝率、②勝率が同じ場合は直接対決での勝者、③ゲーム率、④ポイント率となる。予選で棄権した場合、その選手は棄権前の戦績に関わらずリーグ最下位となります。
- ・ 2 段目以降空きコートから順にコールするので、試合がコールされたら選手は速やかにコートに入ること。
- ・ 荷物は主審が立つサイドに置くこと。
- ・ チェンジエンドの際は荷物を全て持って移動すること。
- ・ 試合中にコートを離れることは認めない。ドリンク、ラケット等必ず用意してコートに入ること。
- ・ ラケット交換時、シャトル交換時の試打は認めない。
- ・ 試合のコール後、3 分経過してもコートインが確認できない場合は競技委員長判断で棄権扱いとする場合がある（ロビーには放送は入らないので注意のこと）。
- ・ 応援・観戦は 2 階観覧席からのみ。コーチ席用意の場合、チーム関係者・生徒着席の上、コーチングは可能とする。